

令和8年度医療・介護従事者向けACP研修

～事例から学ぶ 専門性を活かしたACPの実践～

アドバンス研修

	日程	内容 (AM/PM)
1	7月 4日 土	AM: アドバンス編① 事例: 医療不信と経済的不安にどう寄り添うか PM: アドバンス編② 事例: 揺れる病状と本人意思にどう寄り添うか
2	9月12日 土	AM: アドバンス編② 事例: 揺れる病状と本人意思にどう寄り添うか PM: アドバンス編③ 実習: 一人ではできない支援をどう築くか
3	11月 7日 土	AM: アドバンス編② 事例: 揺れる病状と本人意思にどう寄り添うか PM: アドバンス編③ 実習: 一人ではできない支援をどう築くか

時間 9:00～16:00

- ・ 基本的には1日の研修になりますが、ご都合により半日の受講も受け付けます
- ・ 研修終了後、希望者と講師で「振り返りの会」を行います。

対象 : 市内医療・介護従事者 ACP研修基礎編(※)修了者

(※) 令和5年度より実施。「①わたしのライフライン」「②悪い知らせを聞いたときに」「③わたしたちの選択」の3部構成。

場所 : 新座市役所



新座市ACP普及啓発証

持ち物 : 筆記用具、昼食、飲み物 (ゴミは各自お持ち帰りください)

申込 : 事前申込順 (裏面参照)

定員 : 30名

受講者の声

(令和7年度アドバンス編①受講者の感想) 抜粋

多職種連携とチームとしてのそれぞれの重要性が学べた。課題があっても丁寧な対応をすることによって解決出来ることがわかった。介護職と医療職では専門的な知識の違いがあるので、チームで話し合えて学べた。(介護職)



今回も多職種が集まり、それぞれの視点から意見を交わしたことで、気づきがたくさんありました。また、自分の視点に対して「その考えは無かった！」など言ってもらえて、単純に嬉しかったです。(ケアマネ)



職種の違いにとらわれず、患者さん(利用者さん)のためにどう関わるかを真剣に考えられている姿がとても印象的でした。それぞれの立場を超えて、患者さんやご家族の希望をどう支えていけるかを考えること、そして人としての尊重を大切にすることが、本来あるべき支援の形なのだと改めて感じました。(看護師)



アドバンス研修のねらい

- ① 事例を通じてACPの実践的な側面について理解する
- ② 多職種でのグループワークを通じて多様な知見や価値観を学ぶ
- ③ ACP実践におけるプロセスに目を向ける

「人生の最終段階の選択」を主題として、自分と他者の価値観を知り、異なる価値観を擦り合わせることを妨げる葛藤などを体験します。その葛藤の中でも関係性を築いていくコミュニケーションスキルも学ぶことができます。

講師の紹介



堀ノ内病院 副院長 堀越 洋一 医師

1994年から2013年まで、国立国際医療研究センター国際医療協力局に所属。アジア、アフリカ、南米など30か国の貧しい国々で、「防げる死をできるだけ減らす」ための活動に従事。

2013年より堀ノ内病院地域医療センターに所属。「その人らしい穏やかな死の実現」のために在宅医療に携わっている。

2000年頃より、自分も相手も大切にする感性を磨く相互学習「ラボラトリー方式の体験学習」に取り組んでいる。

問合せ・申込

新座市 介護保険課 介護予防係

電子申請はコチラ

電 話 048-424-5186 (直)

FAX 048-482-5882

メール kaiho@city.niiza.lg.jp

(URL) <https://x.gd/w0uDy>



メール・FAXまたは電子申請でお申し込みください

受講申込用紙

氏名	所属	職種
連絡先（電話番号）	メールアドレス	

- ◆ 受講を希望する日程に優先順位を枠内にご記入ください。
- ◆ 受講が難しい日程には「×」とご記入ください
- ◆ 基本的には1日の研修ですが、やむ負えず半日の受講を希望される場合は枠内下部に「AM」または「PM」とご記入ください
- ◆ 「振返りの会」参加希望の有無を「○」または「×」とご記入ください

研修日程	希望順位	研修日程	希望順位	研修日程	希望順位	振返りの会参加
7月4日(土)		9月12日(土)		11月7日(土)		